

アカウミガメの卵が無事ふ化しました！！

平成20年6月4日に東播海岸に産卵したアカウミガメの卵がふ化し、8月12日に約70匹の子ガメが無事海に旅立ちました。



事務所長よりコメント

姫路河川国道事務所は、昭和36年から、神戸市垂水区の東端から明石市を経て加古郡播磨町本荘に至る延長26kmの東播海岸を国の直轄事業として整備してきました。

整備を開始した当時は、水産業が盛んで豊かな海である半面、海岸の浸食が激しく、江井ヶ島付近では浸食で土砂が削り取られ、海岸近くのタコ壺工場が壊れてしまうほどでした。これを防ぐため、海岸保全施設として護岸と消波ブロックを整備し、海岸の浸食を食い止めることができましたが、一方で、かつて広がっていた砂浜は姿を消してしまいました。そこで昭和57年からは、護岸と養浜を適切に組み合わせた整備方針に切り替え、人工砂浜を整備してきました。

昭和61年以降は、この人工砂浜にアカウミガメが度々産卵に来るようになり、今回のアカウミガメの上陸は平成17年以来3年ぶりとなります。

ふ化の予定日が当初の想定よりも数日遅くなり心配しましたが、子ガメたちが元気に海へと向かう姿を見ることができ、ほっとしています。

ウミガメを含む多様な自然環境を守ることはとても大切なことですので、今後も地域のみなさまに安心して頂けるよう事業を進めて参りたいと思います。